

府中東高校 2023年度 日本史探究 年間授業計画

教科：(地理歴史) 科目：(日本史探究) 対象：(第2学年)

使用教科書：使用教科書：日本史探究 (実教出版)

使用教材：図説 日本史通覧 (帝国出版)

教科の目標

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目の目標

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習取り組む態度】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
1 学 期	第1章 日本文化のあけぼの 1、日本最古の文化 2、縄文時代の社会と文化	・日本列島において、打製石器をおもな道具として狩猟・採集を行う旧石器文化が存在していたことを理解させる。 ・狩猟、漁労、採集という食料獲得方法が、自然に大きく依存していたことに着目させ、土偶や抜歯などの習俗から当時の人々の精神生活について考察させる。	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	8
	第2章 水稲耕作の開始と社会生活の進展 1、弥生時代の社会と文化 2、小国の分立と邪馬台国	・濃厚な普及が人々の生活にどのような変化をもたらしたのかを理解させる。 ・中国の史書に記された倭や倭人の記述から、弥生時代中期から後期にかけての小国の分立について理解させる。	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	10
	3、ヤマト政権の成立・発展と東アジア 4、古墳の成立と発展	・中国・朝鮮半島の政治情勢と日本との交流や争乱に注目し、ヤマト政権の形成を東アジア世界との連続性でもって理解させる。	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	15
	5、大陸文化の摂取 第3章 東アジア文化の影響と律令制度の成立 1、推古朝の政治と飛鳥文化	・5世紀から6世紀にかけての朝鮮半島の情勢変化と関連付けながら、蘇我氏の台頭に注目して、朝廷とよばれるヤマト政権の政治組織の形成と有力氏族の興亡を把握させる ・推古朝以降の内外の政治情勢と関連付けながら、大化の改新が中央集権国家の実現をめざしすすめられた政治的変革であったことを認識させ、その歴史的意義を考察させる。	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	8

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
2 学 期	2、律令国家成立時の政治と文化 3、律令体制とその実態	・中国王朝を模範とした律令制度が中央集権化を進める朝廷にとってどのような意義があったのかを考察させる。 ・律令制度における官制・身分制度・土地制度・税制・兵役などを図版・資料などを活用し理解させる。	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	10
	4、天平文化 第4章 摂関政治と国風文化 1、平安初期の政治と文化	・天平文化が唐の文化的影響を受けて形成された国際色豊かな文化であることに着目し、その特色を考察させる。 ・桓武朝の二大事業である①「造作」長岡京・平安京遷都(2)「軍事」東北経営(蝦夷征討)について、その背景に着目させ、歴史的意義を考察させる。	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	11
	2、摂関政治と地方の動向	・藤原北家が天皇家との外戚関係をきずくとともに、有力他氏を朝廷から排斥し、摂政関白の地位を手に入れ、やがてその地位を独占していく過程を系図・史料などにより考察させる。	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	10
	3、国風文化 第5章 中世社会の成立と文化の新気運 1、荘園公領制の形成と武士団	・11世紀、荒地の大規模な開発をおこなって、私有地支配をとげてゆく開発領主の出現過程を理解させる。	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	7

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
3 学 期	2、院政と平氏政権 3、鎌倉幕府の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・院政の成立によって、政治体制や社会構造がどのような変化をみせるようになったのか、理解させる。 ・鎌倉幕府の支配機構が、源平の内乱のなかでどのように整備されていったのか、その過程を段階追って理解させる。 	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	9
	4、武家政治の展開 5、鎌倉武士と農村生活	<ul style="list-style-type: none"> ・頼朝の死後、北条氏による執権政治がどのように成立していったのか、その権力の掌握過程を整理・理解させる。 ・鎌倉武士の生活を、館や耕地の経営、武芸、惣領制の様子から具体的にイメージできるように諸資料を使って理解させる。 	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	10
	6、蒙古襲来と幕府の衰退 7、鎌倉文化	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアの情勢をふまえながら、蒙古襲来の経過や結果、そして日本側の対応を整理して理解させる。 ・武士という新たな勢力によってなわれた鎌倉文化にはどのような特徴がみられるのか、諸方面にどのような影響を与えたのかを理解させる。 	定期考査	定期考査 プリント 等課題の 提出	プリント 等課題の 提出 授業中の 取り組み	7
					合計	105